

形式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Effect of initial biopsy procedure on prognosis in Stage 1 invasive cutaneous malignant melanoma: review of 1086 patients	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ.7-4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( IV )	
	Pubmed ID	1933198	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Br J Surg.	
	雑誌 ID		
	巻	78	
	号	9	
	ページ	1108-10	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 2 )	
	発行年月	1991 Sep	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Lees VC	Department of Plastic Surgery, Addenbrooke's Hospital, Cambridge, UK.
	その他著者 1	Briggs JC	Department of Histopathology, Frenchay Hospital, Bristol, UK
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
その他著者 9			



目的	初回生検の方法の違いが予後に影響するか検討する	
研究デザイン	コホート研究	
セッティング	Frenchay Hospital 形成外科	
対象者	1967 から 1984 年の転移の無い invasive melanoma 患者 1086 人(初回手術から 5 年間フォローできた者)	
対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず ( 3 )	
対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず ( 3 )	
対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず ( 22 )	
介入 (要因曝露)	Incisional biopsy、narrow margin excision biopsy (最小マージンが 0.9cm 未満)、primary wide excision biopsy (最小マージンが 1cm 以上)	
エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
1	局所再発	1.主要 2.副次 3.その他 ( 1 )
2	死亡	1.主要 2.副次 3.その他 ( 1 )
3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
主な結果	96 例(8.8%)は incisional biopsy、292 例(26.9%)は narrow margin excision biopsy、698 例 (64.3%) は primary wide excision であった。生検方法の選択に最大 tumor thickness、年齢、性別が関連していた。Incisional biopsy の 40% (96 例中 38 例) で完全な診断にいたらず他の生検方法と有意な差が認められた ( $p < 0.0001$ )。ロジスティック回帰分析の結果、incisional biopsy は局所再発と死亡率に影響を与えなかった。予後は tumor thickness、年齢、性に相関した。	
結論	予後には影響ないが、病理組織評価ができるように excisional biopsy を選択するよう薦める。	

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 ( IV )